

大学院都市持続再生学コース 東大まちづくり大学院 シラバス

講義名	脱炭素論（応用都市空間政策論第3）
担当教員名	小林光・村山顕人
単位数(コマ数)	1単位（8コマ）
講義曜日・時限	水曜日 6限
講義目的	2023年3月までに気候変動に関する政府間パネル（IPCC）第6次評価報告書が公表され、日本でも2050年カーボンニュートラルの取り組みが本格化した。今後、まちづくりとしてどのようにカーボンニュートラルや脱炭素化に取り組むべきか、技術、政策、制度、計画、デザインなどの視点から議論する。
成績評価方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・レポートとする。</li> <li>・最終回はレポートの課題に対応したディスカッションを行う。事前にレポートの骨子を考えてもらう。</li> <li>・レポートの提出期限は1月末を予定。ディスカッションをも踏まえた内容に期待する。</li> </ul>

No.	講義日程	講義時限	講義者	講義形式	講義タイトル
1	12月3日	6限	小林光	ハイブリッド	全体の進め方、地球温暖化メカニズムと対策技術、再エネ供給と省エネを掛け算による都市の利点・力
2	12月3日	7限	小林光	ハイブリッド	都市の細胞たる家や企業における脱炭素化
3	12月10日	6限	小林光	ハイブリッド	脱炭素政策の国内外の進化の歴史と国際ルールの意義、日本の政策の欠点
4	12月17日				（「都市の公共政策と法制度」6・7限連続）
5	1月7日	6限	三浦亜希子	ハイブリッド	東京都の環境政策
6	1月14日	6限	村山顕人	ハイブリッド	都市計画・まちづくり分野の気候変動対策（緩和策・適応策）
7	1月21日	6限	村山顕人	ハイブリッド	脱炭素まちづくりの事例（大規模開発型・漸進的更新型）
8	1月28日	6限	村山顕人	ハイブリッド	地区の持続性評価、エコカルティエ、エコディストリクト
9	2月4日	6限	小林光・村山顕人	ハイブリッド	学生も交えたディスカッション
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					